

teradata.

teradata.

# INVEST IN ANSWERS.

今こそ、価値ある「答え」を手に入れよう

日本テラデータ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-23-1 アークヒルズ フロントタワー URL: teradata.jp

Teradata はテラデータ・コーポレーションの米国およびその他の国における登録商標、および Teradata ロゴは商標です。

©2019 Teradata. All Rights Reserved

# INVEST IN ANSWERS.

今こそ、価値ある「答え」を手に入れよう

ビジネスの「答え」とは何でしょうか。それは、経営者が、部門長が、そして現場の皆さんがビジネスを進めるために意思決定をする際の重要な判断材料になる情報です。「コスト削減のために、工場の生産性を上げるにはどうしたらよいのか?」、「経営効率を上げるために、サブスクリプション（定期課金）の解約率を下げるにはどうしたらよいのか?」、「利益率向上のために、航空機の燃費を改善するにはどうしたらよいのか?」などの問題を解決するものが「答え」です。

多くの企業では、この「答え」に焦点を合わせずに、アナリティクスツールへの投資を行っているのが現状です。その結果、データもアナリティクスのシステムもサイロ化しています。実際に私共の調査によると、企業の意思決定者の74%がアナリティクス技術が複雑すぎる、79%が必要なすべてのデータにアクセスできていない、と回答しています。そして、アナリティクス投資に見合った成果が見られないという現実が浮き彫りになってきています。

アナリティクスへの投資は、「答え」から始めなければなりません。どんな「答え」があれば確で迅速な経営判断ができるのか。その「答え」を導き出すために必要なデータはなにか。そのデータはどこにあるのか。そうした観点からアナリティクスに投資をすれば、おのずと分析方法も構築すべき分析環境も決まっていきます。クラウドを使うことやAIを採用すること、そして最新の分析ツールを導入することなどは、あくまで「答え」やその先の「ゴール」にたどり着くための手段でしかありません。



日本テラデータ株式会社  
代表取締役社長 高橋 倫二

アナリティクス投資を進める際には、是非ビジネス部門で「どのような情報があれば確なビジネス判断ができるのか」、求める「答え」を明確化していただき、IT部門とコミュニケーションしていただきたいと思います。そして、私共のようなアナリティクスの専門家にもお客様の求める「答え」について是非ストレートにお伝えください。

テラデータは、ビジネスに価値ある「答え」を導き出すためのデータとアナリティクスを提供する企業です。世界中の多くの業種にわたって1000を超えるアナリティクスのユースケースを保有し、グローバルで約5000名のコンサルタントが「答え」を導き出すお手伝いをしています。また、サイロ化したアナリティクス環境をシンプル化する次世代の統合アナリティクス・プラットフォーム製品「Teradata Vantage」により、次から次に生まれる新しい「答え」への要求に迅速に答えられる世界を作り上げます。私共はこの世界を「パーベイシブ・データ・インテリジェンス」と定義しました。これがアナリティクスの本質を定義し、新しいスタンダードとなると確信しています。

「INVEST IN ANSWERS. ～今こそ、「答え」を手に入れよう～」は私共から、皆さまにお伝えしたいメッセージです。お客様の求める「答え」は何ですか？是非テラデータにお聞かせください。





# STOP BUYING “ANALYTICS”

# IT'S TIME TO INVEST IN ANSWERS.

アナリティクス – 多額の投資がなされる中で、誰も口にしない質問が1つあります。

「大きな期待だけさせておきながら、大した成果もでない、部分的ソリューションを買うのをいつ止めるのか？」

その答えは「今」です。

あなたのビジネスの最も重要な課題をアナリティクスの力で解決するために  
すべてのデータを大規模に、いつでも、誰もが活用できる分析環境が必要です。  
私たちは、これをパーベイスブ・データ・インテリジェンスと定義しました。

私たちが提供する次世代分析プラットフォーム Teradata Vantage が実現します。

もちろん、クラウドでも、オンプレミスと組み合わせたハイブリッドクラウドでも実装できます。

パーベイスブ・データ・インテリジェンスの実現

それが、皆さんが抱える今日のアナリティクスへの不満や疑問に対する「答え」です。

さあ、今こそ「答え」を手に入れましょう。

**teradata.**

# IT'S HOW "ANALYTICS" BECOME ANSWERS.

あなたの求める「答え」は何ですか？

ビジネスの成功は企業が成長の機会を見つけ出し

これをいかに早く収益化できるかにかかっています。

テラデータのお客様は、すでに求める「答え」を獲得し始めています。

ボルボの答え

## 49,987km

ボルボ・カーは、すべてのクルマの走行距離やコンディションを1km単位でモニターしています。収集したデータから、保守警告を送るタイミングを判断したり、ユーザーに人気の機能を把握し、販売店ごとに最も人気のあるオプションを搭載したクルマを在庫することができるようになりました。より良いクルマの提供、さらなる優良顧客の獲得という課題解決にテラデータが貢献しています。

シーメンスの答え

## 239,015 診断/時

シーメンス・ヘルシニアーズの検査機器は、全世界で60万台以上が稼働し、重要な臨床診断の70%以上で活用されています。機器の予測保守のために、ヘルス・センサーのデータを含む24万点/時におよぶタッチポイント情報を収集し、分析しています。精度の高い予測保守による稼働時間の最大化という課題解決にテラデータが貢献しています。

ラリー・H ミラーの答え

## 59 勝 /シーズン

全米プロバスケットボール協会 (NBA) のチーム「ユタ・ジャズ」のオーナー企業ラリー・Hミラースポーツ&エンターテインメント社は、チームの熱狂的なファンを獲得するために、データとアナリティクスを活用しています。選手の健康状態を改善し、勝利数の増加とファンの満足度向上を実現しています。スポーツビジネスにおける、収益向上という課題解決にテラデータが貢献しています。

次の挑戦へ、  
次の創造へ

UNISYS

日本ユニシスグループ

# Pervasive Data Intelligence

ビジネスに必要な「答え」が手に入る世界  
パーベイシブ・データ・インテリジェンス

空気のように存在するデータを  
呼吸するように分析し、答えを得る

パーベイシブ・データ・インテリジェンス - 日常的に聞きなじみのない英単語の組み合わせかもしれません。しかし、この言葉には "データ" へのアプローチにおける重要な概念が込められています。魚にとっての水のように、地上に生きる我々にとっての空気のように、存在があたりまえすぎて、その重要性をともしれば見落としてしまうほどに満ちあふれている状態を英語では "Pervasive (パーベイシブ)" と表現します。そして、現代の企業にとってデータとはまさに "パーベイシブ" な存在だといえるでしょう。

しかしデータは水や空気と違い、そのままの状態、いわゆるローデータ (Raw data) と呼ばれる未加工のデータは、ビジネスに資することはほとんどありません。データを活用するには分析 (Analytics) というプロセスが欠かせず、また、分析するためには必要なデータを抽出し、適切なフォーマットに整形する前処理が求められます。

さらに、より正確な分析結果を得るためには精度の高い分析モデルの構築や、フレームワークなど分析環境の整備も必要となります。データはパーベイシブな存在であったとしても、アナリティクスはパーベイシブとはほど遠い状況にある - これが多く企業の現在の現実ではないでしょうか。

テラデータはお客様がパーベイシブ・データ・インテリジェンスを実現し、ビジネス上の価値ある答えを獲得することをお手伝いします。我々の理想は、次世代統合アナリティクス・プラットフォームである Teradata Vantage をもって、日々、実現しつつあります。アナリティクスにおける複雑性は排除され、必要なときに簡単にビジネスに必要なインテリジェンスが手に入る世界、これが近い将来、企業が競争力を獲得、維持するために必要不可欠になると確信しています。

パーベイシブ・データ・インテリジェンスの詳細はWEBをご覧ください。

URL: [teradata.jp/Resources/Articles/PDI](https://teradata.jp/Resources/Articles/PDI)

世界制覇へ所属選手たちが進化を続けるように。  
日本ユニシスグループは、社会課題を解決する企業としてビジネスエコシステムの中核となり、デジタルトランスフォーメーション(DX)を加速していきます。

松友 美佐紀

遠藤 大由

渡辺 勇大

東野 有紗

高橋 礼華

日本ユニシス  
実業団バドミントン部

Foresight in sight

スマホで見られる  
デジタルメディア



<https://cu.unisys.co.jp/>



# Teradata Vantage

パーベイシブ・データ・インテリジェンスを  
実現する唯一のプラットフォーム Teradata Vantage

Teradata Vantage は、様々な分析ツールや分析言語  
機械学習やディープラーニングを含む分析エンジン  
新しいデータソースに対応した、統合アナリティクス・プラットフォームです。  
あらゆる分析を大規模に実行でき、どこにでもデプロイが可能  
ビジネスの最も重要な課題に対して「答え」を獲得できる世界を実現します。

## Teradata Vantage ならすべてを把握できる

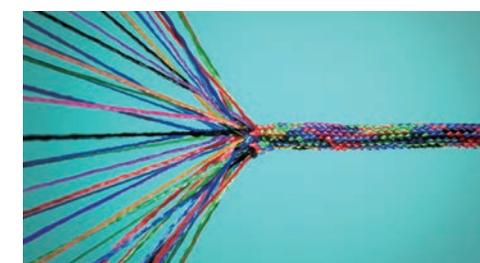


### 様々な分析を 一つのプラットフォームで実行

180以上の事前定義済み分析関数と、優れた分析エンジンが統合されたプラットフォームにより、分析目的ごとにアクセスする分析環境を変える必要がなくなります。

### 必要なすべてのデータにアクセス

様々なデータタイプ、フォーマット、そしてデータストアに対応し、分析に必要なすべてのデータにアクセスできます。データコピーやその重複保持による弊害から解放されます。



### 好きなツールで分析

主要な分析ツールや言語をサポートします。新しいツールや言語を習得したり、データがどこにあるか気にすることなく、今まで活用しているツールや言語ですべてのデータにアクセスし、分析が行えます。

### より迅速に実行可能な「答え」を

エンタープライズ向けのパフォーマンスとスケーラビリティを独自の超並列処理技術により実現しています。全社統合プラットフォームとして、より多くのビジネス課題解決に取り組むことができます。



Teradata Vantage の詳細は WEB をご覧ください。  
URL: [teradata.jp/Vantage](https://teradata.jp/Vantage)

teradata.

# UNIVERSE

DENVER, COLORADO • OCTOBER 20-24, 2019

## Learn. Collaborate. Engage.

Teradata Universe は、テラデータのソリューションを様々な形で学び  
経験することができるグローバルカンファレンスです。  
世界中のアナリティクス先進企業や業界を牽引するリーダーたちと直接出会い  
意見交換ができる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

### 多彩なプログラム

会期中は200以上のセッションが実施され、その約60%が顧客企業による事例セッションです(2018年実績)。実践的なハンズオントレーニングも人気のプログラムです。

### 先進企業との個別ミーティング

世界中の先進事例の講演者、ユーザー企業およびテラデータのエグゼクティブと個別に密な情報交換ができるミーティングが可能です。ご希望によりミーティングの設定をお手伝いさせていただきます。

### 2018年 講演企業

<国内企業>  
日産自動車 / 日野自動車 / ヤフー  
楽天 / 理想科学工業 (企業名50音順)  
<海外企業>  
Amazon / American Airlines  
Aflac / Barclays / Boeing / eBay  
FedEx / Wells Fargo / Verizon  
その他多数

ジャパンツアー日程

2019年10月19日(土)~25日(金)

開催場所

米国コロラド州デンバー

詳細はWEBをご覧ください。担当営業にお問い合わせください。

URL: [teradata.jp/Events/TU2019JP](http://teradata.jp/Events/TU2019JP)

# Opening New Horizons

新しい景色を見るために

CTCは、最先端のテクノロジーで社会のデジタル化を支えています。  
皆様と共に、新しい景色を描くため、ITの可能性に挑戦し続けます。

「答えは、CTC。」

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 [www.ctc-g.co.jp](http://www.ctc-g.co.jp)

CTC

Challenging Tomorrow's Changes

テラデータは  
パーベイシブ・データ・インテリジェンスを実現する  
業界唯一の企業です

テラデータは、お客様が最も重要なビジネス課題に対して  
データとアナリティクスを活用して「答え」を獲得できる世界  
パーベイシブ・データ・インテリジェンスを実現します。  
また、その世界を実現できる唯一の次世代統合アナリティクス・プラットフォーム  
Teradata Vantage を提供しています。

**50%+**  
コンサルタント  
の割合

**75+**  
事業展開している  
国の数

**100+**  
テクノロジー  
パートナーの数

**40**  
イノベーションを  
続けている年数

社名： 日本テラデータ株式会社

英文表記： Teradata Japan, Ltd.

設立： 2007年4月20日

事業開始： 2007年9月1日

本社： 〒107-0052  
東京都港区赤坂 2-23-1  
アークヒルズ フロントタワー

代表者： 代表取締役社長 高橋 倫二

資本金： 4億9千万円

事業所： 東京(本社)、大阪、福岡

社名： テラデータ・コーポレーション

英文表記： Teradata Corporation

本社： 米国カリフォルニア州  
サンディエゴ

代表者： 社長兼 CEO  
Oliver Ratzesberger

売上高： 21億6400万ドル (2018年)

ただ  
待つだけでは  
始まらない。  
さあ今こそ  
活用しよう。

お客様の課題解決のために、  
アクセントチュアがイノベーションや  
豊かな業界知識をどう駆使しているか、  
詳しくは [accenture.jp](https://www.accenture.jp) をご覧ください。

**NEW APPLIED NOW**